

今年度の研究は学部間交流！（幼稚部と交流）

今年度の校内研究は、「学部間交流」が大きなテーマです。せっかく一つの学校に、幼稚部、小学部、中学部と同居をしている恵まれた状況を生かし、研究は当校の特色を生かした学部間交流を進めことになりました。その中で中学年（3年生）は、幼稚部＝年中組との交流を実施することになりました。

5月終わり、幼稚部の園長先生をはじめ先生方と打ち合わせを開始。研究授業が行われる10月6日（水）まで、まずは1学期にアイスブレイキングとして3回の交流会を実施することになりました。それを足掛かりに、本番は、日本・韓国の昔の遊びを紹介しながら交流するところを公開することにしました。

交流の様子について、各家庭にお知らせした学年だよりをもとに、再構成してみました。また、残念ながら、7月14日からコロナ感染拡大でオンライン授業になり、7月22日に予定していた3回目の交流（おにごっこ室内レク）ができませんでした。

幼稚部との交流会①学校探検と読み聞かせ

6月24日、交流会が始まりました。3年生はほとんどの子どもたちが初めての幼稚部。いつもは締まっているドアを開けて、幼稚部へ移動、集会スペースに集合しました。年中さん13人とペアになる3年生が手をつなぎ整列。そのあと、自己紹介をしました。



いよいよ1回目の交流会のスタートです。はじめは学校探検チームです。りくさん、じえいどさん、さわさん、ゆうとさん、りのさんが前に立って、ゆうとさんとりのさんの司会で交流開始。「これから、第1回目の交流会を始めます」と司会のゆうとさんが言葉を述べ、りくさんがはじめの言葉を言いました。「待ちに待った幼稚部との交流会です。3年生は頑張って準備を進めてきました。楽しい学校探検にしましょ

う」と話しました。さわさんが探検の約束と探検する場所を説明して、ペアと手をつなぎ幼稚部を出発しました。

1班から階段をのぼりそれぞれの順路に従って、探検をしていきました。ペアと手をつなぎ、3年生が小学部や図書館などそれぞれの場所を説明しながら案内していきました。階段では、ゆっくり歩いたり、「気を付けてね」と優しく声をかけたりする姿がたくさん見られました。約20分、学校を探検してもどり、整列。じえいどさんの終わりの言葉の後、読み聞かせへとバトンタッチしました。



少し休憩を取って、読み聞かせに入りました。読み聞かせ担当の5人、ゆりさん、みゆさん、かれんさん、あいさん、せいやさんが前に出ました。学校探検同様はじめの言葉の後、すぐに読み聞かせに入りました。この日のためにロイロノートで読む場所を写真に撮り、家に送って練習をしてきました。



はじめは大きな絵本を、みゆさんとあいさんで読みました。題名は「おばけのてんぷら」二人で協力しながら、読むところを半分に分けたり、大きいので二人で本を支えたり協力してページをめくり、一生懸命頑張っていました。ロイロノートで読む場所を写真に撮り、練習してきた成果を発揮していました。工夫しながら、落ち着いて上手に読み進めました。



続いて、かれんさんが紙芝居を読みました。題名は「いっしょにあそぼう」。マイクをみゆさんが持ってあげ、協力して進めていました。かれんさんも家で繰り返し練習をしてきたので、つかえることなくすらすら登場人物の気持ちも伝わるように読んでいました。

続いてもう一つ、「ひーらいたひーらいた」という紙芝居を、ゆりさんとせいやさんが読みました。やさしい語り口調に聞いている子どもたちも

引き込まれ、騒ぐこともなく、上手に楽しく聞くことが出来ました。読み終わると、余韻が会場を包み込み、素敵な交流となりました。

幼稚部との交流会②宝探しと折り紙



7月1日、第2回目の交流会です。1回目の会場が幼稚部だったので、この日は全員小学部に集まり、小学部での交流となりました。3年生教室は、中休みに宝を隠すということで、全員3年生教室から離れ、3時間目の集合は、国際ラウンジにしました。幼稚部が来る前に、3年生は少し緊張気味に静かに集合し、幼稚部の到着を待ちました。少し経つと年中担任の本間先生(新潟の人です)に引率された年中さんが3年生の待つ国際ラウンジに登場。3年生の間に入り、ペアを組んで座りました。



担当のこうまさん、ひろきさん、やすともさん、ゆうきさん、つ・ゆうせいさんが前に出て、交流会開始です。司会のやすともさんの進行で、こうまさんがはじめの言葉を言い、ひろきさんとゆうせいさんが注意事項を話していきました。他の人たちは少し緊張気味な感じもありましたが、静かに聞いていよいよ宝探しの会場、3年生教室へ。廊下で移動してきた人たちを整列させ、年中さんと手をつないで各教室で宝探しに入りました。3年生が「どこかな?」「この辺りにあるかもよ」など先に見つけていても年中さんに花をもたせる気の使いよう!これには担任二人も「すごい!」



3人組なので、宝も3つ探したら担当の前に並ぶというルールで、いつもなら、われ先

と競って並ぶような3年生もこの日は焦ることもなく、とにかく年中さんのことを考えながら楽しんでいる様子に成長を感じさせられました。表彰式ではメダルもプレゼントし、終わりの言葉をゆうきさんが述べ、1つ目の交流を無事終了しました。





宝探しで緊張感もおさまり、次の交流プログラム、折り紙チームへとバトンタッチです。前に担当のてるさん、みなとさん、こうきさん、た・ゆうせいさん、けいたさんが出て、折り紙の交流が始まりました。

てるさんの司会でスタート。けいたさんがはじめての言葉を言って、みなとさん、こうきさんがやり方を説明しました。この日は、3つのチームに分かれて、折り紙を折り始めました。



各チームともに、年中さんを挟むように工夫し、優しく折り方を教えている姿がとても印象的でした。七夕にあわせて短冊や七夕飾りをつくっていきました。あらかじめ練習していたこともあり、スムーズに教えることができたようです。年中さんも3年生の優しい言葉に笑顔があふれ、ほのぼの交流している様子に見守る幼稚部の先生方も安心されているようでした。また、3年生をすごくほめていただきました。これには、3年生担任もうれしく思ったのです。



みんな真剣に取り組み、年中さんも作っている中で、3年生に話しかけたり、積極的に聞いたり、1学期最大の目標だった「アイスブレイキング」がばっちりできたように感じました。



できた作品は持ち帰って、七夕飾りに付けてもらいました。なかには七夕飾りだけでなく、プレゼントとして折り紙を折って年中さんにあげていたチームもありました。もらって喜んでいる年中さんの顔に3年生もにこにこ顔でした。

いつもは、口うるさく片づけを言われる3年生も、ここではお兄さんお姉さんなので、「さあ片付けるよ！」など声をかけながら後片づけをしていました。

片付けが終わり、もう一度全員学習室に集合。ゆうせいさんの終わりの言葉で第2回の3年生の交流会を無事、楽しく終了しました。